

利用者さんと装具に寄り添う

通所リハビリテーション科ではリハビリの際に装具の不具合や、経年変化による影響などを考慮して、助言・支援をさせていただくことがあります。

今回は5年間愛用していた装具から新しい装具に新調した利用者さんへの支援事例を紹介します。この方は足部の変形により歩行時に装具を必要とする方です。就寝時以外は常に装着しているため、装具がほぼ身体の一部と言っても過言ではない生活をされています。

5年前に作製した装具は固定性が低下していました。要因は作製時よりも足が痩せてしまったことでした。そのままでは身体への悪影響や装具の破損などのリスクが懸念されたため、装具受診（装具に関して医師の見解や提案をいただける受診）をお勧めしました。

受診の結果、装具を新調をすることになりました。完成した新しい装具は装着感が良くうれしい反面、歩いたときの感覚が変わったことで不安があるようでした。装具のある生活が安全で快適に遅れるよう、ご本人のペースに寄り添いながら今後も支援を行っていきます。



豊田えいせい病院
リハビリ新聞



2022年
12月28日
第44号

1年目症例報告会を実施しました



回復期リハビリテーション科では、今年入職した3名のセラピストによる症例報告会を12月12日に行いました。

患者さんについての理解を深めながら、今後の臨床に生かせるように先輩方からアドバイスを頂きました。

今後もよりよいリハビリが提供できるように努力していきます。

乾燥する冬から春に考えたい「湿度」

「寝起きに喉がカラカラ」、「肌がかさかさで粉を拭く」、そんなことはありませんか？

病院・介護現場でも

- ・痰がねばねば(粘稠)してからみやすい
- ・皮膚の発疹が出やすい
- ・肺炎リスクや感染リスクが高まる

といった影響があるため、湿度管理は重要です。適切な湿度は諸説ありますが、**60%程度**が適切と言われています。40%以下では感染リスクが高まり、60%以上ではダニやカビの発生リスクが高まります。

湿度管理もぜひ意識してみてくださいね！



温湿度計



加湿器



部屋干し

豊田えいせい病院は“ふるえ(振戦)”の治療を行っています。お困りの方がいらしたらご相談下さい！



豊田えいせい病院 診療技術部

回復期リハビリ科 TEL : 0538-34-6123 FAX : 0538-34-6231
療 養リハビリ科 回復期リハビリ科と共通
包 括リハビリ科 回復期リハビリ科と共通
通 所リハビリ科 TEL : 0538-34-6223 FAX : 0538-34-6222
訪 問リハビリ科 TEL : 0538-34-6137 FAX : 0538-34-6231